

広報たしる

No.334

昭和56年6月号

田代町総務課編集

1,500部発行



春カボチャの

出荷始まる

圃場整備の終わった猪鹿倉の川南地区で、昨年よりカボチャの栽培を行っております。

今年も去る五月十五日から出荷が始まり週三回鹿児島市場に出荷しています。

栽培農家の努力で品質がよく、市場の評価も他の産地より十キロ当り五百円高で取り引きされています。

栽培者は、畜産との複合経営ですが、最終的には十アール当り三十万円の売上げを見込んでいます。

今後、栽培農家が増えることを期待します。なお、写真は猪鹿倉務さんのカボチャ園です。おくさんの顔もりっぱなカボチャに満足そうでした。



市場で好評のあるエビスカボチャ



自然を活かした憩いの場（花瀬公園）

二、課題
前記のごとく恵まれない現況に加えて地理的にも自然的にも不利な条件のもとに、本町を取りまく地域社会は県総合振興計画や新大隅開発計画の中での基本的方向として、南大隅農業開発と大規模畜産基地、志布志港、大隅縦貫道整備事業など上位計画の中にあり、本町の産業構造にも大きな影響が予測されます。このような情勢の変化に伴ない長期的展望のもとに豊かで住みよい町を実現するため新しい観点に立つ課題として次のような総合的環境の整備をはかる必要がある。

第一 地域の特性を活かした産業の振興と憩いの場の整備
第二 住みよい生活環境と交通通信基盤の整備
第三 活力と創造性に富む教育文化の振興
第四 行政、財政の簡素効率化による町行政の推進

第二章 将来像
第一節 目標
「活力に満ちた、緑と心の豊かな町」
生産環境、生活環境、教育環境、自然環境は調和のとれた総合的環境の整備をはかることにあり、長期的展望にたった本町のあるべき姿を描き進むべき方向と町勢を進展させるため住民団体の積極的参加と協力を求めつつ、国県の施策と相まって過疎地域からの再生の道を開き、活力に満ちた緑と心の豊かな町づくりをめざす。

第二節 発展の方向と主要な施策
町内の、土地の特性を活かしながら農用地、森林地、住

第一 地域の特性を活かした農業の振興と憩いの場の整備
自然条件、地理的条件を活かした農林業を主体とした産業の振興をはかつてきたが今後も農林業を中心に自然を活かした、憩いの場の建設、基幹道路の開設を促進しこれに結び町道や農林道の整備をはかる。

一、農業
本町経済の基幹であり、土地条件と特性を活かした畜産、茶、タバコ、園芸等の振興と供給体制の整備をはかり、二次的農業構造改善などによる基盤整備の推進、経営の近代化、労働力の効率的利用、農業後継者の育成など効率的な農業の施策を構する。

二、林業
農業経営との組合せで推進することを主眼とし、林道網の整備で林産物の生産流通体制

第一 地域の特性を活かした住宅、公共用地など地域住民の要望、要請をみきわめながら長期的、有効的な土地利用をすすめる目標達成のために次のような基本的方向を定めた。

第一 地域の特性を活かした住宅の整備
宅地、公共用地など地域住民の要望、要請をみきわめながら長期的、有効的な土地利用をすすめる目標達成のために次のような基本的方向を定めた。

一、農業
本町経済の基幹であり、土地条件と特性を活かした畜産、茶、タバコ、園芸等の振興と供給体制の整備をはかり、二次的農業構造改善などによる基盤整備の推進、経営の近代化、労働力の効率的利用、農業後継者の育成など効率的な農業の施策を構する。

二、林業
農業経営との組合せで推進することを主眼とし、林道網の整備で林産物の生産流通体制

第二 住みよい生活環境と交通通信基盤の整備
人口定住の実現には、生活環境の総合的な整備と魅力ある地域社会を形成することが重要でそのためには基礎的行政サービスの確保や交通通信基盤の整備をはかり健康で安全な環境づくりが必要である。

一、社会福祉
福祉を高めるためには、子ども、老人、心身障害者などが一体となつてあたたかく交わることが出来る住民参加という新しい行政をどう受け入れるかにありその実態に応じた生きがい対策を中心とする施設や設備を重点的に整備する。

二、保健衛生
住民の健康を守る対応は数多く、広域的な予防管理と健康管理体制の整備促進をはかる。

三、交通通信施設
道路網の整備は、主要幹線道の完成とこれに結ぶ地方道町道、農林道や集落内の連絡道の整備をはかり共に交通安全の防止に対する各種施設の整備をはかる。

その他、広報無線の高度利用と内容の充実を努める。

第三 活力と創造性に富む教育文化の振興
教育は、すすんで学び教養

町勢十年間の動向

田代町総合振興計画を策定

「活力に満ちた緑と心の豊かな町」

本町では、昭和五十六年度を初年度として昭和六十五年までの町政の指針となる「田代町総合振興計画」を、町地域振興審議会、関係機関等の専門的審議と長期にわたる作業を経て昭和五十五年十二月に開会された議会に提案しました。

町議会においては特別委員会が設置され数回にわたり慎重審査していただき昭和五十六年三月十二日議決されたものです。

今後は、この計画を町政運営の基本とし、国・県並びに関係機関と協調しながら目標の達成に努力を傾注して、町勢の発展をはかることにしています。

この振興計画は、総論・基本構想・基本計画・実施計画からなり、その概要についてとりまとめ参考として供し、存じますのでご理解とご協力をお願いいたします。

第一部 総論

一、計画策定の趣旨

社会経済の発展や生活水準の向上に伴い、住民に対する行政サービスの高度化が要請されているが限られた町財源の中で行政水準の向上をはかるには、場あたりの行政でなく長期的かつ総合的な視野にたった計画に基づく行政が必要となつてきている。

そのためには、町が自らの責任と創意工夫により総合的な計画を策定し地域の特性を活かした計画を要請されており、何をなすべきかということをはかり、それをどのような手段でどのような順序で行うかという方針を立てると共に上位計画や既存の圏域広域行政機構の活用と整合性をはかり長期的、総合的な計画についてその大綱を明らかにしようとするものです。

二、計画の性格と構成
基本構想は、現況と課題、将来像、目標とする主要指標からなり本町においては国や県の計画に比べ、社会的経済

第二部

基本構想

第一章 現況と課題

一、現況

本町は、古くから農林業と景勝の地、人情豊かな郷土として知られ自然に恵まれた山村で昭和三十六年に町制を施行し、本年二十周年を迎えている。

人口は、減少が激しく過疎化が進み昭和三十年の人口七千六百三人が昭和五十五年の国勢調査では四千三百八十人で四十二・四パーセントも減少している。

したがって、昭和四十五年の過疎地域対策緊急措置法に基づき過疎地域として指定を受けているがここ五年間は減少率が鈍化し安定の方向にはある。

町民一人当りの所得額は、昭和五十三年度市町村民所得推計報告書で九十六万円となっている。

このような現況の中での生産環境、生活環境、教育環境等の整備は充分とはいえず総合的居住環境の整備に対する要望や要請が多様化している。

総会のオンパレード

社会教育関係諸団体

四月一日の青年団総会を皮切りに、婦人会、体育協会、文化協会、子ども会育成連絡協議会、PTA連絡協議会並びに校外生活指導連絡協議会ソフトボール協会、更には老人クラブ連合会等諸団体の総会が五月いっぱいまで次々に実施された。

この総会が終わると、今年の事業計画や予算にもとづいて事業が進行してゆくことになる。

諸団体の今年の活やくを期待します。

次に、各団体の役員さんをご紹介します。

○PTA連絡協議会並びに校外生活指導連絡会

会長 大園 三郎
副会長 横原 徳明
書記 中村 睦郎

婦人会連絡協議会
会長 右田 睦子
副会長 小川 ノリ
会計 浜田 イミ

○連合青年団
会長 南園 高樹
副会長 橋口 達郎

書記 折小野まゆみ
会 計 安田 憲次

○子ども会育成連絡協議会
会長 中村 義雄
副会長 川前 卓郎
書記 藤崎 明子

○文化協会
会長 南園 忠雄
副会長 岩崎 美義
書記 岩崎 美義

○体育協会
会長 右田 始
副会長 池田 一雄
会 計 中村 睦郎

○ソフトボール協会
会長 舞原 一己
副会長 中村 睦郎
理事 長 中原 操
事務局 長 山脇 幸夫
審判部長 浪瀬 幸雄
副 表木 幸六

○老人クラブ連合会
会長 鶴園 末吉
副会長 伊藤佐江吉
書記 橋口 イマ
書記 小園 義美

○高父母連
会長 小榎 正夫
副会長 辺志切 満

婦人幹部研修会

副会長 大竹野正明
五月十二日、本年度の各部



婦人幹部研修会

落婦人会長さん、副会長さんが開発センターに集まり、婦人幹部研修会を開催した。テーマを「青少年の健全育成にせまり、講演や映画で研修を深めた。

講演は大根占警察署の防犯係と田代駐在所の方々によるもので、実例をあげながらの話しに婦人会の方々はうなづいておられた。

会の最後に田代中の前田先生の指導でフォークダンスを行い、童心にかえり、楽しい一時をすごした。

会長さん、副会長さんごくろうさんでした。

町長旗争奪ソフトボール大会

パイオニア優勝

五月十五日と十七日の二日にわたって恒例の町長旗争奪ソフトボール大会が開催された。十二チームの参加があり、今年度初の町内の大会でしかも、ソフトボール協会新役員による初めての大会ということで盛り上がった。

優勝したパイオニアは、このところ無敵をはこり、連続優勝の記録を更新中である。結果は次の通りでした。

〔一回戦〕
田代球友 10-3 辺志切

〔二回戦〕
パイオニア 7-0 田代球友
バツファロー 9-8 ブロース
花瀬事業所 9-2 教員団

〔準決勝〕
パイオニア 4-1 バツファロー
役 場 17-1 花瀬事業所

〔決勝〕
パイオニア 5-1 役 場

町内めぐり

橋ノ口婦人会

五月十三日、橋ノ口婦人会員二十四名は郷土を知ろうと町内めぐりを計画した。

同じ町内に住みながら案外田代を知らないというのが研修の理由、中には初めて行く所もある人があったようで、有意義な研修でした。コースは麓地区からチリ焼却場へ、南松園を慰問して猪鹿倉集落センター、花瀬で昼食をとり盤山の茶畑を見て、最後は奥花瀬でマス釣りを楽しんだ。



花瀬での昼食

梅雨期です

食品に注意!!